

奈良旅の醍醐味

③

故郷大和桜井のまちづくり

「空き家活用を通して活気あるまちへ」

文と写真：岡本 健（日本旅のペンクラブ会員）



①旧材木商迎賓邸宅を修復した蔵の宿 櫻林亭(第3弾)
住所/桜井市桜井262-2
電話/0744-45-1322
チェックイン/15:00~18:00
チェックアウト/11:00

私は奈良県桜井市桜井本町通の商家で生まれ、朝から晩まで毎日賑わいに包まれて育ちました。18歳からは故郷を離れ進学、就職しました。退職間近、40年の歳月を経て実家に戻ると、昔の賑わいはなく、文字通りシャッター商店街を目の当たりにして愕然としました。そうした中、住民同士のつながりや地域の賑わいが希薄になったまちに活気を取り戻そうと平成23年に「桜井市本町通と周辺まちづくり協議会」が立ち上がっていました。そのメンバーの一員として住民会議の開催、アーケード撤去や防犯灯の設置、イベント開催などで地域の皆さまとのつながりを作り上げました。平成28年に現「桜井まちづくり株式会社」を設立、培った地域住民とのつながりをもとに「空き家再生によって、多種多様な店舗を誘致し、ワンランク上を目指す」をモットーに、空き家活用普及事業を開始しました。

第一弾は旧青果店を活用してできた

「櫻町珈琲店」(写真②)。地元の吉野杉を活かした空間で、珈琲歴20年のマスター厳選、奈良県産ハンドピック焙煎豆を使った光サイフォン仕立てのコーヒーは格別の香りと味わいを愉しめます。地域コミュニティを活性化させたいという想いから2階はワンフロアの広いスペースとなっており、近隣会社のミーティングの場や町内会議の場として利用されています。

第二弾は銀行支店跡を活用してできたレストラン「ル・フルドヌマン 櫻町吟」(写真③)です。この建物は南都銀行の前身吉野銀行桜井支店として昭和初期に創建され、設計は近代奈良の建築家の岩崎平太郎氏、大正ロマン溢れるレンガブロックのファザードを復元しています。屋内の二階回廊と吹き抜け天井や窓も当時の意匠のままです。



②青果店跡を町家風に修景した櫻町珈琲店(第1弾)
住所/桜井市桜井884-3
電話/0744-48-3908
営業時間/7:30~19:00頃(L.O.18:30)
定休日/水曜日

オーナーが自作する吟農園からの新鮮な野菜や奈良県産の大和牛、大和ポークなど新鮮な食材を活かしたフレンチを味わいただけます。特別な日にワンランク上の料理を楽しめるレストランをコンセプトとして運営、地元住民同士での懇親会や披露宴でも利用されるなど賑わいを見せています。

第三弾は明治時代に木材商が建てた数寄屋建築物を改修。高級町宿「蔵の宿 櫻林亭」(写真①)です。できる限り現存保存し、外国や都会で生活する人に、古き良き日本文化を体験してもらええる高級町宿(民泊施設)として昨年9月に開業しました。駅から徒歩3分の至便なところに、四季折々の風情を愉しめる日本庭園、本格的な茶室、二つの大きな蔵、回廊のある座敷など数寄屋造りの佇まいを残しています。



③銀行店舗跡を改修したル・フルドヌマン 櫻町吟(第2弾)
住所/桜井市桜井951
電話/0744-49-0015
ランチタイム/11:00~15:00(L.O.14:00)
ディナータイム/17:00~21:00(L.O.20:00)
不定休

私たち桜井まちづくり(株)は、ここ本町通り商店街界わいを東西南北が交わる空間と古代から未来へつながる場と捉え、「時空の交差点」というコンセプトを掲げています。「日本発祥の地、そして未来へ。大和桜井」を標榜し、地域の誇りである歴史・資源を大切に、快適なライフスタイルと賑わいあふれる住みよいまちを目指し活動しています。空き家の活用によって「地域の人がより快適に暮らしやすく、そして来訪した方にはまた来たいと感じてもらえる」そんなワンランク上のまちづくりを目指し、第4弾、第5弾と取り組んでいます。是非、桜井に訪れていただき、まち歩きをお楽しみください。



【おかもと・たけし】奈良県桜井市出身。神戸大学卒業後三和銀行(現三菱UFJ銀行)に入行、定年退職後、平成29年から桜井まちづくり株式会社代表取締役社長を務める。

当連載は、日本旅のペンクラブ(S37設立)の関西支部員が奈良の寺社、食、宿、特産品等を様々な切り口でご紹介、執筆しています。